

第 49 卷 PDF 読本



成田空港駅



千葉ニュータウン中央駅



京成電鉄・新京成電鉄 北総鉄道・芝山鉄道

2025年1月15日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 京成本線（成田空港～京成津田沼）・・・6

第2章 京成本線（京成津田沼～京成上野）・・・・・・・・・・26

第3章 京成千原線・京成千葉線・・・・・・・・31

第4章 京成押上線・・・・・・・・・・

第5章 京成金町線・・・・・・・・・・

第6章 京成成田空港線・芝山鉄道・・・・・・・・

第7章 新京成電鉄・・・・・・・・・・

第8章 北総鉄道・・・・・・・・・・

路線	区間	営業キロ
京成電鉄		123.6
①本線	京成上野～成田空港	69.3
②千葉線・千原線	京成津田沼～千葉中央～千原台	23.8
③押上線	押上～青砥	5.7
④金町線	京成高砂～京成金町	2.5
⑤東成田線	京成成田～芝山千代田	9.3
⑧成田空港線	印旛日本医大～成田空港	13.0
⑥新京成鉄	松戸～京成津田沼	26.5
⑦北総鉄道	京成高砂～印旛日本医大	32.3

※東成田線には芝山鉄道（東成田～芝山千代田：営業キロ2.2km）を含む。

総営業キロ 182.4 km

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 44 弾目として、山手線・総武本線などに接続する、東京都・千葉県を走る、京成電鉄・新京成電鉄・北総鉄道の旅（総営業キロ 182.4 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 59 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2001 年 1 月～2023 年 2 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次の PDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 47 編（日本横断歩き鉄の旅）

京成電鉄 新京成電鉄 北総鉄道・芝山鉄道



2023年2月8日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 京成本線（成田空港～京成津田沼）

第1節 成田空港～京成臼井

成田空港(9:15)～空港第2ビル～京成成田(12:30)～公津の社(13:31)～宗吾参道(14:24)～京成酒々井(しすい、15:10)～大佐倉(15:55)～京成佐倉(16:32)～京成臼井(18:27)

第360回目のウォーキングは、平成25年7月13日（土）、3連休の初日実施。本来ならば、松本＝篠ノ井間を歩きたいのであるが、予算の都合や来週第50回目のわいわい会（宿泊つき）があるのでこのプランは採用せず。代わりに、京成本線の未踏破部分とする。すなわち、成田空港＝京成津田沼間の39.6kmである。当初は、成田空港＝京成成田（8.1km）の代わりに東成田線・芝山鉄道（9.2km）を考えていたが、ダイヤの関連で急遽変更するプランとなる。



成田空港駅

4時半頃起床し、本日のプランを準備する。愛犬セブンの散歩は家内にお願ひする。当初考えていた芝山千代田へのアクセスを安易に考えていたので、この駅までの所要時間等で見積もりを誤る。自宅の出発時間やJR線の活用等、自宅から芝山千代田までの最短時間があつたと思うが。自宅を6時前に出て、南林間6時21分の電車で、新宿駅へ。そして、山手線に乗り、日暮里駅へ。そこから京成電鉄で目的地を向かうコースを選択する。7時37分の電車（各停）で京成津田沼駅を目指す。京成には殆ど乗車しないので、ダイヤの状況が不案内。青砥で特急に乗り換えるべきところ、乗り換えず。やっと京成八幡駅で乗り換える。



京成八幡駅



京成成田空港駅

10分位京成成田駅に到着する時間が遅れる。加えて、ダイヤを勉強せず、今回のプランに臨んだため、京成成田駅から芝山千代田行のダイヤや9時25分までなし。それで、本日のコースを成田空港に切り替える。当初からであれば、新宿からJR線を活用すれば、早く成田空港駅に到着できたのだが。京成八幡駅から京成成田駅まで居眠りをしながら移動する。それゆえ、本日から挑戦する京成津田沼～京成成田まで歩くコースを見ないままの移動となった。目が覚めた時は、京成成田駅であった。ここで、本日の歩きコースを成田空港駅からとする。乗り換えの手間とロス時間を考慮し変更となった。結果的には大成功であろう。ウェブサイト“カッシー館”にも投稿したように、誰もが知っている、360回目の歩きとして、日本の玄関“成田空港駅”のタイトルで掲載できたからである。



成田空港駅



成田空港駅には9時15分到着。成田空港へは昭和58年7月以来で不案内。3連休もあり、沢山の乗客の姿が1階ロビーにあった。監査体制の関係から、身分証明書の提示を求められる。持参しておらず、氏名・住所の記載で無事フォロー。地上に出るのに沢山の人の世話になり、やっと9時28分出ることができる。案内で成田市街方面に向かう概略の道路を教えて頂く。しかし、地上に出たものの、京成成田駅までの路を探すのに、神経を費やす。運よく、交通整理の係りの方が居られたので、わかりやすく教えて頂く。「100m位先の竹藪に沿って歩けば一般道にでられます」の回答を得て安堵する。同じような経験は数年前京急羽田線でも経験したので、〇〇となっていた。それに

比べれば、雲泥の差で楽ちんであった。



成田空港の風景を沢山デジカメの収め、9時33分から、京成成田駅を目指し歩く。途中、これまでの苦い経験から誤った方向に進む可能性もあるので、引き返す場面も生じる。そして、ガードマンの方に聞いて確認する場面が。広大な空間を使用する成田空港界限には、ホテルや輸送等沢山の企業があった。厳重な警部のため、トラックの往来の都度、門戸が開閉していた。「Welcome to Japan」の看板があった。



ホテル看板 取香橋交差点

10時6分、ホテル看板の一覧前を通過。この中に東横インもあった。歩道には桔梗、紫陽花、菊が描かれていた。10時8分、東武ホテルが見える取香橋（とっこう）までこのような門が十数個あった。取香橋交差点ととこで、右往左往していると、通行人の方がおられ、京成成田方面の道筋をお尋ねする。この路を左折しても、京成成田方面に行けるとのことであった。それで、幹線道路を避け、市道を歩く。10時18分、前方に京成線を見つけ安堵する。10時21分、91歩ある新取香橋（薄いグリーン）を渡る。茶色の円曲をもつゴージャスな感じのホテルマロード成田が見える。



ホテルマロード成田

京成電鉄下を2回潜り、幹線道路に出る。10時36分、京成電鉄下を潜る。その先にも50m位の幅の道路風下を潜る。10時45分、カメラマンか立ち並ぶ道路下に到達。さくらの山という公園であった。沢山の人が、3km先にある成田空港での離陸のために移動する緻密な飛行機の動きをカメラに収めていた。この辺りで数分私も観察する。この公園には、桜満開の上を飛び立つ飛行機の写真があった。トイレでタオルを水に浸し、熱中対策する。



さくらの山



引き続き44号線を歩く。11時10分、小菅交差点に到達。11時12分。県道成田小見川鹿島線港44法ヶ塚前を通過。その先に成田市街5km、国道51号線3kmの道路標識前

があった。11時15分、京成電鉄を横切る。11時26分、直径50m位の池があった。その手前で2匹のたぬきの死骸があった。山道を歩く。11時32分高速道路下を潜る。幹線道路から市道に入る。11時46分、左手200m位先に京成線、右手500m位先に成田山新勝寺の五重の塔が見えてくる。12時、321歩ある成田橋（根木名川）を渡る。この橋は昭和56年3月竣工とあった。私が日本アクチュアリー会正会員の資格を取得した時期と同タイミングであった。



成田橋 吉野家

橋を渡った先に吉野家があったので、ここで昼食とする。味噌汁つきで330円であった。ここで12時4分～12時18分まで休息。この前にバス停があり松原とあった。ここから2つ目の信号を右折した先に本日最初の京成成田駅（12時30分）があった。



京成成田駅 一本松通

途中に栗山公園（12時25分）があった。ここから、暫く左手に京成線、右手にJR線の間を歩く。一本松通りとあった。12時46分、京成線を道路下に横切る。京成線の左側を歩く。12時55分、成木県道踏切を横切る。国道51号線を歩く。そして、途中から市道に入る。地図を確認する時期がタイムリーであった。13時20分、成田市立平成小学校前を通過。何人かの人にお世話になり、近代的な駅舎である公津の杜（もり）

駅には 13 時 31 分到着。



平成小学校 公津の杜駅

駅前には広々とした空間があり、イトーヨーカ堂があった。13 時 33 分、この駅か少し行った先のセブンイレブン（成田公津の杜 4 丁目店）でかき氷とお茶を購入。ここから暫く、鉄道の左側に沿って歩く。14 時 10 分、宗吾霊堂前に到着。



宗吾霊堂 宗吾参道駅

ここで、700m先に宗吾参道駅があるとあったが、駅らしき建物は見えず。宗吾霊堂をお参りした人に、宗吾参道駅をお尋ねする。どうも行き過ぎたらしい。15 分位ロスする。道路よりも低いところに線路が続いていたし、100mトンネルがあったので、間違った方向に進んだのを見落としたのが原因。宗吾参道駅には 14 時 24 分到着。この駅の踏切を横切り、駅構内の自動販売機でアイス購入。14 時 38 分。京成電鉄の鉄道本部前、研修センター前を通過。この近郊には車両基地があった。15 時 10 分、京成酒々井（しすい）駅に到着。



京成電鉄の鉄道本部 お月様急行



京成酒々井駅

この駅も JR 酒々井駅と相当はなれている感じであった。この駅前には 5 つの像があった。駅舎前の 4 つの像は、昼下がり、花ことば、お月様急行、お話しとあった。15 時 25 分、踏切の名称を確認しようとしたとき、上野行のエキプレスが通過して行く。15 時 34 分、大川牧場前を通過。沢山の肉牛が肥育されていた。15 時 48 分、産土うら参道前を通過。大佐倉第 1 号踏切を渡った先に大佐倉駅（15 時 55 分：鉄道の右側）があった。



大川牧場



大佐倉駅

上下の電車がやってくる。特急は 8 両編成であった。道なりに歩く。京成佐倉駅（北口）には 16 時 32 分到着。この駅の先に有森裕子さんの金メダルジョギングロードがあり、また、鉄道に沿ってあり、この路を歩くことにする。金網が張った川が続いていた。ただし、川の水は清水ではなかった。16 時 55 分、通り抜けできませんとの看板があった先を、好奇心から進む。しかし 17 時 2 分、看板通り、川があり進めず。それで、看板があった先まで引き返す。そして、川に沿って歩く。



京成佐倉駅



金メダルジョギングロード

17時15分、万歩計で305歩ある佐倉橋（鹿島川）を渡る。17時40分、53回佐倉市花火大会の看板が目に入る。そして、印旛沼沿いに風車のような建物（150m位先）が目に入り、17時45分、好奇心から近づく。近くに居られた方に、この建物は何ですかとお尋ねする。「水田に水を入れる風車」の回答があり。そう言えば、この一帯には水田が広がっていた。風車の建物に面して、ひまわり畑があった。自転車に乗った外国人から「距離標」について質問を受ける。とっさに「distance」と答える。「Thank you」の回答あり。



佐倉橋

再度、鉄道沿線の路に戻り歩く。京成臼井駅には、18時27分到着。雨粒ポツリ感じるが、雨は降らず。京成臼井始発（18時32分）の電車で自宅を目指す。帰りは、京成津田沼駅で特急に乗り換え、船橋で下車。船橋からJR総武線でお茶の水まで。お茶の水から快速で新宿へ。新宿から小田急線に乗り継ぎ、自宅には21時28分到着。本日の営業キロは23.6km、万歩計は64,932歩であった。本日は午後から薄曇りとなり、この季節としては歩きやすい一日となった。



大風車



ひまわり花壇



白井駅

第2節 京成臼井～京成津田沼

京成臼井 (11:28) ～ルーカリが丘(12:32)～志津(13:18)～勝田台(13:48)～
京成大和田(14:30)～八千代台(15:02)～実籾 (みもみ、15:54) ～
京成大久保(16:47)～京成津田沼(17:23)

平成 26 年 5 月 31 日 (土)、真夏の日差しの中、京成臼井から京成津田沼までの 16 km に挑戦する。約 1 か月振りの歩きとなる。京成線の続きは、昨年(2014)の 7 月 13 日 (土) 以来である。いつもであれば、愛犬セブンという言葉が、ウォーキングの出だしに登場するが、これからはこの言葉は使えない。5 月 21 日 (水) の深夜 1 時 17 分に他界したからである。それ故、終始、セブンの元気な姿を思い出しながらの歩きとなる。本日は、4 時に目が覚め、いつもの 15 km のコースをジョギングしてからの、ウォーキングとなる。保険情報への投稿の推敲もあり、自宅を 8 時半頃出る。南林間 (8 時 57 分発)、新宿、日暮里、高砂と乗り継いで京成臼井へ。途中、10 時 40 分、高砂で快速佐倉行に乗り換える。

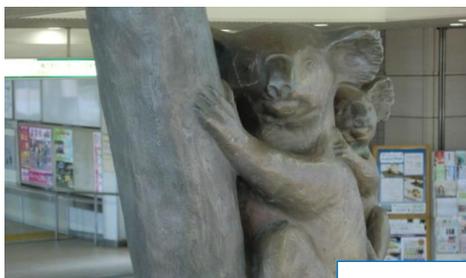


京成臼井駅



ユーカリが丘駅界隈のビル

京成臼井には 11 時 28 分到着。ユーカリが丘駅まで、鉄道の左側を大きく回っての歩きとなる。鉄道に沿って微かにはユーカリが丘駅前の高層のマンションが見える。水田の中の道を歩く。11 時 48 分、途中、川があり土手に沿って歩く。丘越えの歩きとなる。12 時 24 分、上座遠山公園という看板前を通過。その先にユーカリが丘駅 (12 時 32 分) があった。駅舎はモダンなビルであった。そして、駅近郊は数棟の高層ビルが並んでいた。あたかも、都心でもいるような感じであった。駅舎には名前の由来の如くユアラの像があった。



ユーカリが丘駅

この駅から少し行った先のとん太（12時45分～13時5分）で昼食を摂る。久しぶりに美味しい塩バターラーメン（650円）と対面する。もやしの食感と塩とバターのコンビが絶妙であった。この店から100m位先に讃岐の丸亀製麺（13時6分）があった。ちょっと後悔するが。志津駅には13時18分到着。13時25分、佐倉市井野（国道296号）を通過。13時45分、佐倉市から八千代台市となる。市境にみずほ銀行があった。13時47分、勝田台駅に到着。



とん太



志津駅

勝田台駅

14時10分、95歩ある大和橋を渡る。大和橋歩道橋とあった。14時30分、踏切を渡った先に大和田駅があった。セブンイレブンが駅に隣接していた。15時2分、八千代

台駅があった。駅からすぐ行った先にフコク生命八千代営業所があった。その先に涼しい木陰をもつ八千代西市民の森があった。この森の中に諏訪神社があった。15時42分、実籾4号踏切を渡ろうとするが断念。鉄道の右側に沿った道を歩く。15時53分、鉄道に沿って、学校法人みもみ幼稚園が見える。



大和田駅 八千代台駅

15時54分、その先に実籾（みもみ）駅があった。上り電車がやって来る。流石、首都圏の鉄道である。電車の本数が多い。1か月前の篠ノ井線とは全く比較にならない。16時3分、大宮神社、大原神社前を通る。16時7分、満開のつつじがある日本大学生産工学部実籾校舎前を通過。16時17分、京成大久保第3踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。下り電車が通過して行く。16時21分、習志野健康福祉センター・習志野保健所前を通過。



フコク生命 諏訪神社がある森



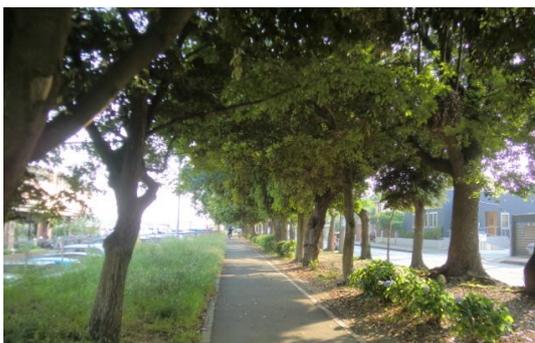
実籾駅 大宮神社



日本大学生産工学部

大久保駅

16時29分、京成大久保第1踏切を横切り、鉄道の右側を。今度は上り電車が通過して行く。16時35分、京成大久保駅に到着。16時47分、涼しそうな木陰を通る。17時15分、JR線を潜る。17時23分、京成津田沼駅に到着。17時33分の上野行特急で自宅へ。途中、船橋、京成八幡、高砂、青砥に停車。自宅には19時43分到着。本日の営業キロは16km、万歩計は3万歩(実際には $15,671 + 19,312 = 34,983$ 歩と推定)とする。久しぶりの歩きで、くたびれたが、保険情報で営業キロ7,400kmと記載している数値を超えほっとする。実際には379回の歩きで7,401.8km。これで、北海道歩きの準備もできた。同時に京成電鉄の全線を踏破。充実した一日であった。巨人が1対0でオリックスに競り勝つ。もう少しで、金子投手にノーヒットノーランを喫するところであった。勝負事の非情さを知った一日でもあった。



京成津田沼駅